

doinel online store Starts a Gift Service!

doinel online storeにて、ギフトラッピングのサービスがはじまりました。doinelでご購入の贈り物を店頭でもご好評をいただいているスウェーデンの包装紙やシンプルなペーパーバッグなどを使って、スタッフがひとつひとつラッピング。doinelらしい佇まいのギフトをお届けします。

また、"doinel gift ideas" ページでは doinel の視点で選んだギフトアイテムやセットアイデアをご紹介します。新たなコンテンツを贈りものの参考にしながら、doinel でのギフト選びをぜひお楽しみください。



▶▶ doinel online store のギフトページはこちら

[https://doinel.net/gift\\_ideas](https://doinel.net/gift_ideas)



クリスマスシーズンに合わせ、店頭とonline storeでご希望いただいた方に、赤いコードやシルバードコレーションペーパーをポイントにした、クリスマス仕様のラッピングでお包みます(一部商品を除く)。この機会に大切な方へ、doinelで選んだクリスマスギフトを送りませんか？

期間：2018年11月29日～12月25日 予定  
※ 画像はイメージです。



doinel journal

November, 2018

Take Free

look at

new doinel Original LINEN Items



ご好評をいただき、様々な方に愛用いただいている doinel オリジナルのリネンエプロン。この度素材をリニューアルし、テーブルクロスやトートバッグなどの新たなアイテムも加えて入荷いたしました。フランスのヴァンテージエプロンをモチーフに、機能面だけでなく美しい姿を意識し細部までこだわって製作したりネンエプロンは、ご家庭でキッチンに立つ方はもちろん、料理家の方、美容師さん、お花屋さん、パン屋さんなどユニフォームとして選ばれることも多いアイテム。年代や性別に関わらず贈り物としてもおすすめです。white、navyに、doinelらしいlight blueを新しく追加した3色展開。マルチに使える同素材のテーブルクロスや、軽くて扱いやすいトートバッグもあわせてご覧ください。

info by doinel

Matti Pikkujämsä Exhibition 2018 "MARRASKUU"



2018年11月15日(木)から12月4日(火)までの期間、フィンランドのイラストレーター / アーティスト、マッティ・ピックヤムサのエキシビション 'MARRASKUU' を開催いたします。'MARRASKUU' (マラスクー) とはフィンランド語で11月という意味。この時期、秋から冬に向かうフィンランドの森では、木の実やキノコが実り、動物達が冬支度を始めます。本展では、森の中に生きる鳥や植物をモチーフに、雪が降り積もる前の、美しくメランコリックな一瞬を、ブライウツドのペインティング作品で描きます。絵本作家としても活躍するマッティの大きな絵本に入り込んだような、独創的な世界観をお楽しみください。

new arrival

MCNUTT OF DONEGAL



アイルランド北西部で1950年に創業したMCNUTT OF DONEGAL (マクナット) のスカーフやブランケットが入荷しました。MCNUTT の製品は全てアイルランドにある自社工場で生産され、イギリス発祥のツイード生地によく採用されるヘリンボーン柄をメインにしたコレクションなど、伝統的な柄を美しく、かつ親しみやすい製品に仕上げています。高品質で柔らかなメリノウールを使用した大判ショールや、コンパクトながらカシミア入りで首元を優しくあたためてくれる薄手のスカーフなど、コーディネートやシーンに合わせて選べる豊富なラインナップでご紹介しています。

doinel standard

Robert Herder "Old German Knife"

刃物の産地として名高いドイツ・ゾーリンゲンの街で、140年以上も続くロベルト・ヘアダー社。その代表的な商品であるオールドジャーマンナイフは、様々なシーンで活躍する万能なナイフです。切れ味よくパンや食材をカットでき、先端が丸くバターナイフとしても使えるので「朝食のナイフ」とも呼ばれている逸品。キッチンはもちろんテーブルでも圧迫感なく使える小振りのナイフは、1本あると重宝するスタンダードアイテムです。



vetements et accessoires

rosa mosa "WALLI Fur Wallet"

オーストリア ウィーンを拠点に靴や鞆などのプロダクトを製作するrosa mosa(ロサ モサ)から届いた、寒い季節にぴったりのウォレット。柔らかな羊毛のファーで覆われた愛らしい佇まいとシンプルなスタッド留めが特徴です。コンパクトに設計された二つ折りタイプで、内部には札入れ、コインポケットの他、左右にカードなどを収納できる7つもの仕切りがあり、見た目以上に機能も充実。鞆から取り出すたびに心を和ませてくれるユニークな存在感のウォレットは、遊び心を込めた冬のギフトにもおすすめです。



My favorite ○△×

My favorite "Portugal"

昨年初夏、2度目のポルトガルを訪れた。ポルトガルの食事やお酒、雑貨…どんな出会いがあるのか、毎日わくわくしながらひたすら街を歩いた。お店をチェックしてはパトロールをするのが今回の旅の楽しみのひとつでもあった。食事については、魚介も肉類も野菜もワインも、ヨーロッパであることを忘れるくらいどれも安くておいしかった。イワシをグリルして、地元のオリーブオイルとヴィネーガーをたっぷりかけ、塩をパラッと。それにポルトガルの爽やかなワイン、ヴィーニョヴェルデを…。ひとつひとつの食材がびっくりするほどおいしいので、こんなシンプルな食べ方が成立するのだ。初夏のやわらかな風を感じながらレストランの軒先で、ポルトガルで出会った友人たちと食べるそれは格別だった。素朴で飾り気はないけれど、ほっこり懐かしいようなポルトガル料理。そもそも今回の旅の目的は、ポルトガルを代表する建築家、アルヴァロ・シザの建築を巡ることだった。建築家の夫に建築物のセレクトを任せ、結果、ポルトガルを東西南北3600kmを回る旅となった。シザについてはほぼ前情報を得ず、ポルトガルへと旅立ったが、シザの建築は建物そのものがすべてを物語っていた。モダニズムで圧倒的な存在であるが、ポルトガルのそれぞれの街や自然に溶け込んでいる。ポルト



ガルそのものだった。ポルトガルに生まれ育ったシザの建築を見ているうちに、風土と建築と物、食事すべてにおいてその素朴でおおらかという同じような雰囲気を感じた。そして、ヨーロッパの西の果てのポルトガルは、日本の西の果て、今私が住む福岡と似ている。海に囲まれた西の果て、食材の宝庫、住む人々のおおらかさなど、ポルトガルと福岡の共通項はとても多い。数年前に東京から福岡に引っ越して居心地がよくなったように、ポルトガルにも同じような心地よさを感じた。それ以来、すっかりポルトガルという国の虜になっている。まだまだ知りたいこと、発掘したいものはたくさんある。そんな縁を感じてポルトガルを福岡から紹介していきたいと思っている。

📍 山上 祐子 (micelle ltd. バイヤー、OBG eu. オーナー)

東京のインテリアショップでバイヤーを経験後、福岡に移住。フリーのバイヤーとして様々なショップの立ち上げに携わる。2018年9月、ポルトガルの雑貨やワイン、日本の作家の器や食品などを扱うショップ OBG eu. (@OBG\_eu.) を始める。

## doinel

[ location ]

3-2-9 Kita-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107-0061  
It is 3 minutes' walk from Gaienmae Station of Ginza Line to doinel.

Open 12:00 - 20:00 Closed Wednesday

[ contact ]

tel +81-(0)3-3470-5007  
info@doinel.net  
http://doinel.net/

📍 a\_doinel  
📱 doinel  
📷 doinel\_shop

